

現地学習会

歴史から学ぶ防災 2018

— 命と文化遺産とを守る —

①

②



和歌山県指定有形民俗文化財 津波警告板(富田区長蔵)

- ①獅子舞の奉納(飛鳥神社境内)
 - ②区役員による津波警告板の解説(避難場所である神社裏山)
 - ③もちまき(解説後)
- ①・②・③は2018年11月23日に行われた祭礼の様子



③

毎年11月23日に行われる飛鳥神社の祭礼

白浜町富田地区では、312年前の津波で多くの尊い命が奪われました。「地震が起これば直ちに津波がやって来るので、最寄りの山に登り上がる」と当時の人々はこの教訓を受け継いでいこう、板に記しました。毎年行われる飛鳥神社の祭礼のなかで、この教訓が呼び起こされています。



平成31年 **2月23日(土) 日高町中央公民館**(大会議室)

日高郡日高町高家629番地 TEL. 0738-63-3811

13時30分～15時30分 報告

15時40分～ 地域防災を考えるワークショップ(希望者)



平成31年 **2月24日(日) 白浜町立日置川拠点公民館**(2階大会議室)

西牟婁郡白浜町日置980番地の1 TEL. 0739-52-2660

13時30分～15時30分 報告

15時40分～ 地域防災を考えるワークショップ(希望者)



いずれも入場無料、申込不要 【詳しい内容は裏面をご覧ください】

お問い合わせ：和歌山県立博物館 **073-436-8670**

主催：和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、和歌山県立博物館

後援：日高町、日高町教育委員会、白浜町、白浜町教育委員会

協力：和歌山県教育庁文化遺産課、和歌山県立文書館、和歌山大学地域活性化総合センター紀州経済史文化史研究所


文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

この事業は、『平成30年度文化庁地域と共創した美術館・歴史博物館創造活動支援事業』によるものです。

2月23日(土)

13時30分～15時30分

日高町中央公民館大会議室 [報告(各20分)]

①

「日高町志賀地区におけるため池災害」

帝塚山大学 非常勤講師 裏 直記

②

「比井地区における地震津波の記憶」

和歌山県立博物館 主任学芸員 前田 正明

③

「焼火地蔵信仰の広がり — 浄土院地蔵を中心に —」

和歌山県教育庁文化遺産課 主事 松原 瑞枝

④

「祭り／祭礼と社会組織の変容

— 阿尾地区クエ祭のクエ押しと獅子舞の断絶を中心として —
和歌山大学紀州経済史文化史研究所 特任准教授 吉村 旭輝

⑤

「誰にでもできる水濡れ資料の応急処置法」

神戸大学地域連携推進室 特命准教授 松下 正和

2月24日(日)

13時30分～15時30分

白浜町立日置川拠点公民館 2階大会議室 [報告(各20分)]

①

「日置川流域の文化財の保全と活用」

白浜町教育委員会 学芸員 佐藤 純一

②

「富田・飛鳥神社の津波警告板」

神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 木村 修二

③

「棟札に記された災害の記憶

— 田野井春日神社を事例に —
歴史資料保全ネット・わかやま 会員 砂川 佳子

④

「昭和33年日置川水害とは何だったのか。

— いまもつづく住民による検証 —
和歌山大学 非常勤講師 鈴木 裕範

⑤

「焼火地蔵信仰の広がり — 市江地蔵尊を中心に —」

和歌山県教育庁文化遺産課 主事 松原 瑞枝

【和歌山県立博物館で開催される展覧会】

1月26日(土)～3月3日(日)

企画展「徳川治宝が生きた時代」

3月9日(土)～4月21日(日)

企画展「国宝・古神宝の世界 —熊野速玉大社の名宝—」

同時開催 常設展「きのくにの歩み —人々の生活と文化—」

ご来館いただいた方で、ご希望される方には、小冊子(『先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝えるV—命と文化遺産とを守るために—【日高町・白浜町】』)を無料でお渡しします。

